

しるべ

手稲東中学校 校より

第2号 令和8年4月9日

札幌市立手稲東中学校

札幌市西区西野2条5丁目3番1号

電話 661-3363 FAX 661-3858

<http://www.teinehigashi-j.sapporo-c.ed.jp/>

「入学式の式辞」より

校長 佐々木 豊文

新入生のみなさん、中学校入学おめでとうございます。皆さんの入学を心待ちにしていました。新入生のみなさんは今、どんな気持ちでこの入学式を迎えているのでしょうか。中学生になったという喜び、これから始まる新しい生活への大きな期待でしょうか。同時に、不安な気持ちもあるのではないのでしょうか。ですが、安心してください。手稲東中学校の先輩たちはとても親切で、新入生のみなさんを優しい気持ちで迎え入れてくれます。先生方も親切・丁寧に教え、導いてくれます。明日から始まる学校生活を楽しみにしてください。

新入生のみなさんに、私から二つ話をします。

まず、中学校での三年間でより多くの経験を積みながら学びを深め、大人になったときに求められる「自律」を目指してほしいということです。「自律」とは、「自分の心のハンドルを、自分でしっかり握ること」です。最初は誰かに頼ったり頼られたり、お互いに助け合ったりしながら、心のハンドルを握る練習をし、最終的には自分で考え、自分で判断し、自分で行動することができる人の姿です。まず、自分で考えて行動するためには「知識」が必要です。知識があればいろいろな方向から物事を見つめ、考えることができます。次に、身につけた知識をもとに「経験」を積むことが必要です。何かに挑戦してみようという積極的な姿勢は、経験の幅をより広げることができます。そして、経験をたくさん積んでいくと「自信」がうまれます。その繰り返しによって、自信が確かなものとなり、自律へとつながっていきます。

次に、あいさつを大切にしてほしいということです。みなさんは、だれかに明るく元気な声であいさつされたとき、その人に良い印象をもち、好意的に見るようになると思います。あいさつを通して、お互いにより良い印象を持つことができると、そのあとの関係性は確実によくなっていきます。新しい出発の今こそ、自分から進んであいさつをしてみてください。あいさつをきっかけに、一生仲良しとなる友人と出会えるかもしれません。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」…。まわりの人と良好につながり、そしてよりよく生きていくために、ずっと大切にしたい、自分の宝にしたい言葉です。

「歓迎の言葉」より

在校生代表 第69期生徒会長

暖かい日差しと心地よい風が春を感じさせる季節となりました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生を代表して心よりお祝い申し上げます。新しい制服に身を包んだ皆さんは、今日から手稲東中学校の仲間になります。新たな生活を前に、どのような気持ちも抱いているのでしょうか。新しい出会いや、どの部活動に入ろうかといった胸が躍る思いがある一方、小学校よりも難しくなる勉強や、大きく広がる人間関係に不安を感じている人もいるのではないかと思います。私たち在校生も入学当初は不安でいっぱいでした。しかし、毎日の学校生活や、合唱コンクールをはじめとした学校行事で仲間との絆が深まっていきました。絆が強くなるにつれて、はじめに抱いていた不安はなくなり、今では何事にも堂々と挑戦できるようになりました。新入生の皆さんも、ぜひそれぞれの個性を生かして手稲東中学校の一員として楽しい学校生活を送ってほしいと思います。

ところで、新入生の皆さんは、本校にどのような学校行事があるかご存じですか。校外学習や宿泊学習、修学旅行などの旅行的行事や、学校全体が大きな盛り上がりを見せる表現力開発学習、そして陸上競技大会など、多くの学校行事があります。その中でも、最も学校中が盛り上がり、仲間との団結力が強くなる学校行事は、合唱コンクールです。合唱は、挨拶と並んで手稲東中学校の伝統です。合唱コンクールの前は、練習を通して仲間たちとの絆が一層深まります。また、交流会を通して上級生が下級生にアドバイスすることが多くあります。このように、合唱という伝統は、先輩から後輩へと受け継がれてきました。新入生の皆さんはぜひ、今年の合唱コンクールを楽しみにしてください。

そして、学校生活や行事に関して不安なことやわからないことがあったら、私たち上級生を頼ってください。これからは、手稲東中学校の仲間として、励まし合いながら共に進んでいきましょう。

改めて、本日はご入学おめでとうございます。在校生一同、心より歓迎いたします。



始業式の代表生徒の言葉

「2学年に向けて」

新2年生 代表生徒

昨年度の一年間を振り返り、学年全体として成長できたと感じることが二つあります。

一つ目は、「自分たちで考えて動く力」が身についたことです。特に、二分前行動、二分前着席は、先生方に言われなくても、自分たちで意識してできていました。

二つ目は「行事を通してクラスの絆を深める」ことです。特に合唱コンクールや学校祭では、どのクラスも一丸となって準備や練習に取り組んでいました。

一方で、行事で見せた集中力を日常の生活に活かしきれなかったことが反省点です。特に、廊下やホールの使い方に課題が残りました。休み時間などに廊下を走ったり、ホールで騒がしくしてしまったりと、周囲への配慮が欠ける場面がありました。公共の場でのルールを守り、落ち着いて行動する意識がまだ不足しています。

二年生では、後輩もでき、お手本となる立場になります。廊下やホールなどの公共の場でも節度を持って行動できる、信頼される学年を目指していきたいです。

「今年の抱負」

新3年生 代表生徒

3年生になった今、私が頑張りたいことは三つあります。

一つ目は、勉強です。私は、二年生だったころの一年間、少しずつテストの点数を上げることに成功しました。今年度は、昨年度まで三回の定期テストに加え、学力テスト A、B、C、さらには入試があります私は、入試までにどれだけ自分の最大点数を上げられるかがカギとなってきていると思います。日々の努力やテストの点数で自信をつけ、入試当日は自分ができる最大限の力を発揮したいです。

二つ目は、部活動です。私は中学生になってからバスケットをはじめ、ついに今年で三年目となります。昨年は、初めての後輩という存在に緊張し、あまりうまく話せなかったり、言いたいことを言えなかったりする場面がありました。しかし、今年は誰かに頼ってばかりではなく、もっと周りの様子を見て、自分から行動できるよう頑張ります。そして、今度は自分が頼られるような存在になりたいです。

頑張りたいことの三つめは、時間を上手に使うことです。公立高校の入試までは残り五十週を切っています。どんなに悩んでも、全員同じ時間しか与えられていないことは変わらないので、その時間の中で、どれだけ人より努力するかが大切です。私は志望校合格のために二つの目標を設定しました。一つ目は、毎日同じ時間に同じだけ勉強すること。もう一つは、休憩時間は作っても、暇な時間は作らないこと。この二つを徹底して、三月を迎えたいです。時間を上手に使うというのは勉強面のみではなく、塾や部活動などのスケジュールをしっかりと自分で管理することも含めてのことです。自分がやるべきこと、やりたいことは最後までやり切り、ハードスケジュールに対応できる、そんな計画性のある人間になれるよう、少しずつ今後の予定をイメージしていこうと思います。